

高次脳機能障害について

理解と支援のために知っておきたいこと

交通事故や
転落などの**事故**

脳出血や脳腫瘍
などの**脳の病気**

脳が傷つく

↓ 病気は治ったように見えても…

日常生活や社会生活を送るうえで、次のような
困りごとが現れていませんか？

- 新しいことが覚えられない
- 同じことを何度も聞く

記憶障害

- 手順が理解できない
- 時間どおりに行動できない
- バスや汽車の乗り方がわからない

遂行機能障害

- ぼーっとしている
- 知っている場所でも迷子になる
- 集中できない
- ミスが多い

注意障害

- 怒りっぽい
- 暴力を振う
- 我慢ができない
- 融通がきかない

社会的行動障害

高次脳機能障害とは？

高次脳機能障害は、脳損傷に起因する認知障害全般を指します。

脳血管障害や**交通事故**などで受傷し一命をとりとめたものの、脳に障がいを受け、その後遺症に苦しむ方は少なくありません。その中でも、不慮の事故によるものが多く、若者や社会の中堅層に多いことが特徴です。

高次脳機能障害は、**目に見えにくい障がい**と言われています。怒りっぽくなったり、ぼーっとする時間が増えたりと、周りの人は性格が変わってしまったように感じることもあります。外見からはこれといった決め手がないため障がいが理解されにくく、周りの人の誤解を招きやすくなります。

以前には家庭生活や社会生活を問題なく送っていた人でも、高次脳機能障害により、**突然、苦手になってしまったり出来なくなることが増えます**。そのため周りの人との関係が悪化したり、仕事がこなせなくなったりと困りごとが目立つようになり「もっとやれるはずなのに、やれない」というジレンマを抱える人が少なくありません。

まず、**家族や職場など周囲の方々が障がいについて知ることが大切**です。障がいを知らないことで、本人に過度の要求をしたり、接し方を間違えて、問題が大きくなることもありますが、適切な対応ができると本人の能力を最大限に引き出すことができます。

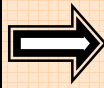
高次脳機能障害の**原因は種々**で、人によって**表れる症状も様々**です。昨日と今日とでも状態が大きく変わったり、家庭ではできていたことが、違う環境におかれることで出来なくなったりもします。

また、**自分に障がいがあると認識できないことも少なくありません**。その場合には、援助を申し出ても拒否され、医療機関の受診や福祉サービスの利用へつながりにくくなることもあります。そんな時には周囲の理解と適切な対応により信頼関係を築くことが大切になってきます。

高次脳機能障害の症状と対応について

【記憶障害】

- 約束を忘れる
- 場所を忘れてしまう
- 何をしていたか分からなくなる
- 聞いたことや見たことをすぐ忘れる



1. 記憶の補助となるような方法を使う

- ・メモをとる
- ・物を決まった場所に置くようにする
- ・日記を書く
- ・時計のアラーム設定を利用する
- ・カレンダーへ書き込む
- ・実際に身体を動かしながら練習する

2. 記憶を引き出すために必要な道具を利用する

- ・食器棚のそれぞれの場所にラベルを貼る
- ・家電製品に簡単な操作説明をつけておく

【注意障害】

- ミスが増えた
- 一つのことをやり遂げられない
- 気が散りやすい
- ぼんやりしている
- 同時に複数のことができない



1. 集中できる環境を作る

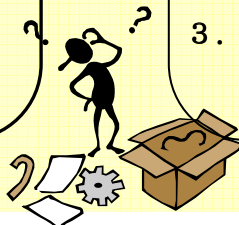
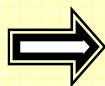
- ・一度にふたつのことは指示しない
- ・作業ごとに時間帯を分ける
- ・マイペースでできる仕事を選ぶ
- ・仕事内容を短時間で区切りこまめに休憩をとる
- ・静かな環境で作業を行う
- ・人混みを避ける

2. 体調を整える

- ・睡眠をしっかり取る

【遂行機能障害】

- 段取りよくできない
- 計画が立てられない
- 物事の優先順位を決められない
- 行き当たりばったりのことをする
- 効率よくできない



1. 時間配分に余裕を持つ

- ・時間に余裕を持った行動ができるように声かけをする
- ・具体的な指示を、段階ごとに的確に与える

2. 行動内容は言葉に出して行う

3. わかりやすく手順を書いたマニュアルを作る

【社会的行動障害】

- 気分がむらがある
- イライラしやすく、怒りっぽい
- 状況に応じた行動がとれない
- 相手の気持ちを思いやることができない
- 自分の障がい理解できない
- 出来ないことをしようとする
- 自分の失敗を人のせいにする
- 失敗体験が次につながらない
- 意欲がわからない
- 自分から何かしようとししない
- 融通がきかない
- 一つのことにこだわり続ける
- すぐに人を頼る
- 態度や行動が子どもっぽくなる



1. 落ち着ける環境をつくる
2. 周囲の人は態度や発言を統一する
3. イライラやこだわりが強い時
 - ・他のことに注意を向ける
 - ・問題が起こるきっかけとなる出来事、状況を避けるようにする
4. 自分でできることを考える
 - ・実際に、自分でやりたいことや我慢できることを挙げる
 - ・人に頼りたいことなども一緒に考え、実行できるようにする
5. 約束事は紙に書くなど、目で見ても確認しやすいように配慮する

【半側空間無視】(左側に多い)

目の前の空間の半分に注意が向かない障がい

- 移動中、半側にあるものにぶつかる
- 車いすの半側のブレーキをかけ忘れる
- 食卓の半分のおかずを食べ残す
- 半分の記載欄を空白のままにする



1. 全体を見渡す習慣をつける
2. 行動は言葉にしなから行う
3. 見えにくい方向があることを常に自覚するよう促す

【地誌的障害】

場所が認識できにくい障がい

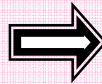
- よく知っている場所で道に迷う
- 近所の地図が書けない
- 目的地にたどり着けない



1. 行動できる範囲を確かめ、自覚できるよう促す
2. 道に迷った時の対処法を話し合っておく
 - ・連絡先を書いたカードや携帯電話を身につけておくなど
3. 家屋内では見やすい場所に目印をつける

【失語】

- うまく話せない
- 思った言葉が出てこない
- 字が読めない



1. ゆっくりわかりやすく具体的に話す
2. 長い文章は避け、短い言葉を使う
3. ジェスチャーやメモを利用する

【失行】

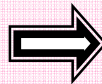
- はさみやスプーンの使い方がわからない
- 掃除機の使い方がわからなくなった



1. 繰り返し練習する
2. できること、困難なことを見極める
3. 複雑な動作は簡素化する
4. 一連の動作の中で、できない動作について介助する

【失認】

- 知っている人の顔がわからない
- 電話で家族の声がわからない
- 目の前に見えているものが何かわからない

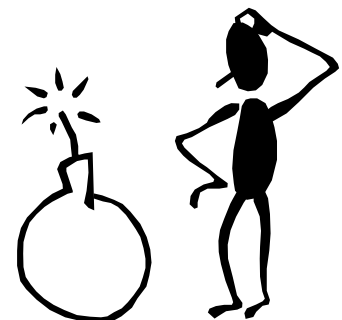


1. 手で触れる、耳で聞くなど、他の感覚も使用する
2. 危険が発生しそうな場合には、見守るようにする

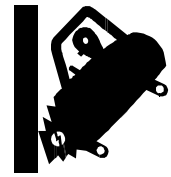
日常生活や社会生活の中で困りごとが出てきた時、どんなことをすればよいのか、何ができるのかと悩んでしまうかもしれません。「自分たちだけで何とかしないと」と考えてしまうと本人も家族も疲れ切ってしまう。

専門家と一緒に高次脳機能障害について色々な方向から考え、関わることで、本人・家族がもっと暮らしやすい環境を整えることができます。少しでも気になることがあれば、気軽に御相談下さい。

一度相談して、「仕事に就くことはできたけれど、仕事を辞めてしまった」という方も気兼ねなく何度でも御相談下さい。



高次脳機能障害の原因について



1 外傷性脳損傷

1次損傷としては、「脳挫傷」と「びまん性軸索損傷」の2つがあります。いったん起こった脳損傷を、現代の医療技術で修復することはできません。

(1) 脳挫傷

のうざしょう

脳表面にある脳実質が、硬い頭蓋骨の間で直撃のダメージを受けて起こる、出血を伴う損傷です。脳挫傷を起こしやすい場所は前頭葉と側頭葉です。

(2) びまん性軸索損傷

せいじくさくそんしょう

引っ張りやねじれなどの力による神経繊維の損傷で、脳の深い位置にある基底核の周囲、脳梁、上位脳幹背側に好発し、この損傷で意識消失を起こすと言われています。出血を伴わないので頭部CTやMRIで診断がつかないことがあります。

2 脳の障がい、疾患によるもの



(1) 脳血管障害(脳梗塞, 脳出血, くも膜下出血など)

脳梗塞は、脳の血管が詰まり、血流が止まってしまうことで詰まった先の脳細胞が壊死してしまいその部位の機能が障がいされます。

脳出血やくも膜下出血では、出血した範囲の神経細胞が障がいされます。

(2) 低酸素脳症

水に溺れる、窒息する、心筋梗塞などで、一時的に、脳に、酸素が届かなくなり脳にダメージを受けます。

(3) 脳炎

細菌やウイルスなどの感染により、発症し、脳に、ダメージを与えることがあります。

(4) 脳腫瘍

脳腫瘍自体が脳へダメージを与える場合や、脳腫瘍摘出後に高次脳機能障害が目立ってくる場合があります。

(5) その他

高次脳機能障害を生じやすい脳損傷の部位について

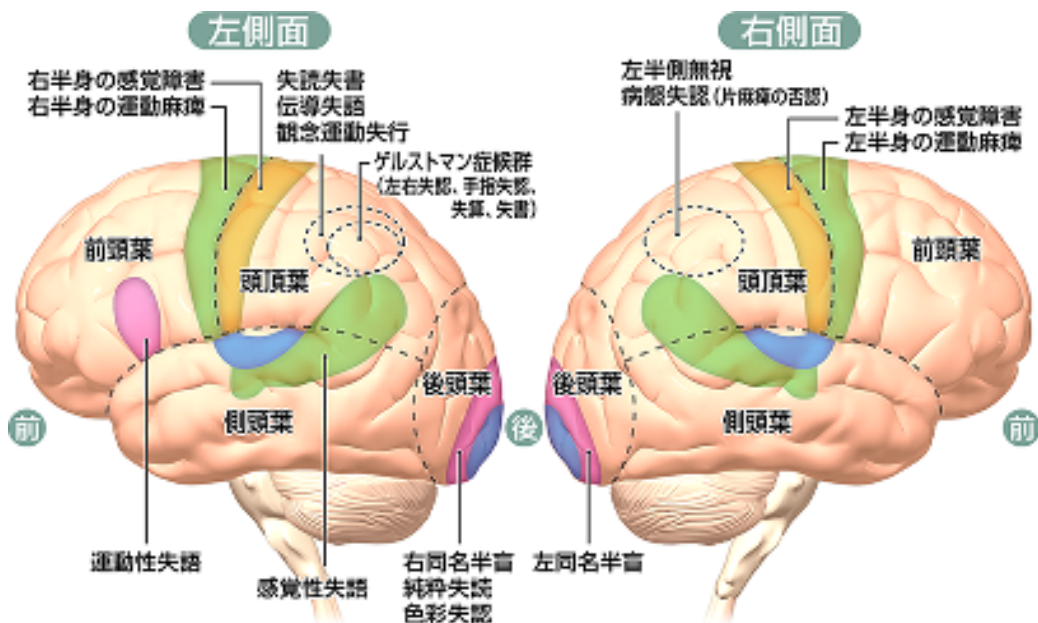
1 前頭葉

前頭葉は複雑な状況の変化に対応するために重要で、周囲の情報へ注意を払い、自分の役割を知り、柔軟に問題を解決します。また、社会の規則に従い、正しく行動することの判断をします。



前頭葉に病変が生じると…

注意障害、判断力の低下が起こります。運動・感覚の麻痺や記憶障害は顕著でなく、人格変化や悪ふざけ、脱抑制、衝動性、易刺激性、攻撃性等がみられます。その反面、関心と興味が欠如し、感情は不安定となり、自発性が無くなり、計画や実行能力が低下します。記憶力は正常でも問題解決能力と想像力に障がいがあるため、神経心理テストはできても、日常生活場面でつまづくことがあります。



2 側頭葉

側頭葉は記憶・情動・聴覚の中樞です。言語や音楽の理解、嗅覚、情動の調整、記憶、社会性、注意などをつかさどります。また、側頭葉内側の大脳辺縁系は、周囲の脳と互いに連結して人間の知性と動物的感性の橋渡しをしている部位です。



側頭葉に病変を生じると…

感覚性失語、記憶障害、情動障害、せん妄、多幸症、行動異常、幻聴、気分や情動の異常を起こすので、外傷の病歴がないと精神疾患との鑑別が困難となります。

高次脳機能障害のための社会資源



「医学的な評価やリハビリテーションを受けたい」

徳島県内の、高次脳機能障がい者の中核支援施設は徳島大学病院です。月～金の10時～16時で相談に応じています。(TEL 088-633-9107) 県内には関連の協力施設もあり、それぞれ相談を受けています。

【P11 参照】

「病院でのリハビリテーション終了後に生活訓練を受けたい」

職場復帰、福祉就労、在宅生活に向け、自立訓練(生活訓練)、就労継続支援事業所などの利用ができます。各市町村の窓口にお問い合わせ下さい。

【P13 参照】

「病院でのリハビリテーション終了後に就職や職場復帰を目指したい」

就職についての相談窓口は、公共職業安定所、障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、就労移行支援などがあります。仕事を探す時には、どんなことが得意で、何が苦手になったか自覚することが大切です。人との接し方などの社会的な能力の変化も含め、病院やリハビリの担当者から説明してもらっておきましょう。無理なく続けられる仕事を探すこともポイントです。

「学校への復学や進学について考えていきたい」

復学や就学にあたって、どのような配慮や支援が必要なのか、病院のケースワーカーや主治医、リハビリ担当者などと相談し、学校や教育委員会と連携し支援体制を作ることが大切です。

障がいの状況によって少人数や個別での指導が必要となる場合には、特別支援学校への転入などについても考えることもあります。また、本人が学校生活に適応できなくなった場合には、本人が無理なく過ごせるよう相談ができます。中核支援センターで御相談下さい。

【P11 参照】

Q&A

Q 普段の生活でどんな問題がおこるのですか？

A 一番多いのは記憶の障がい、自分が言ったこと、したこと、約束なども忘れてしまいますが、興味や関心のあることは覚えられたり、繰り返すことで覚えることができました。料理中に材料を切ることに集中していると、鍋を火にかけていたことを忘れてしまったり、2つのことを同時に行うことが苦手になります。また、段取りがうまく考えられず混乱して、じっとしていると、他者からは、ただぼんやりしているだけのように見えることがあります。

Q 普通に生活することは難しいのですか？

A 自分の障がいを認識し、記憶をおぎなう工夫をすると、1人で外出や家事がうまくできるようになる高次脳機能障害の方が大勢います。例えば、メモやスケジュール帳、携帯電話などを活用し、手順書やヒントカードを用いて、一つずつ確実にやることを学ぶことが有効です。また、習慣化することで身につく行動もたくさんあります。迷わないよう、生活環境をシンプルにし、手順や方法を具体的にコーチすることで、本人の能力がうまく発揮できるようになる可能性があります。困っている様子がみられたら、声をかけてアドバイスし、後でも確認できるようにメモや図を書いて説明するとよいでしょう。

Q 診断や評価がなぜ大切なのですか？

A 高次脳機能障害の有無の判断や福祉サービス、経済的保障制度の活用のためには、医学的診断が必要です。高次脳機能障害の症状は個人によって様々であり、障がいの程度の判断が難しいため、専門家の評価が大変重要となります。複数の支援者が関わり、色々な支援の方向性や対処法を検討するのに大切です。

Q 訓練にはどのようなものがあるのですか？

A 医学的リハビリテーションプログラム、生活訓練プログラム、職能訓練プログラムがあります。医学的リハビリテーションでは、疾病の診断・治療だけでなく最終的な目標に到達するよう、具体的な計画を立てていきます。個々の認知障害の対処以外にも、心理カウンセリングも含まれます。生活訓練では、日常生活能力や社会活動能力を高め、日々の生活の安定と、より積極的な社会参加ができることを目標にします。

訓練を通して障がいに対する認識を高め、不得意となったことの代償手段を獲得することが大きな課題となります。本人だけでなく、家族への働きかけも含めた環境調整も重要です。

職能訓練では、職業に就くために必要な訓練全般を指します。作業遂行の問題を把握し、作業しやすい環境設定についても検討します。本人が、障がいを適切に理解した上で就労への意欲があり、障がいにあわせた訓練や基礎的な認知訓練がほぼ終了していると様々な訓練が効果的となります。

1 障害者手帳

障がいの認定を受けると障害者手帳が交付され、色々なサービスを受けることができます。身体症状と精神症状を持つ場合には、それぞれについての障害者手帳を申請できます。

サービス例) ○税金や公共料金等の控除や減免
○公営住宅入居の優遇
○公共交通機関(電車やバス・タクシーなど)利用料の割引
○障がい福祉サービス
※サービスの対象者や内容は自治体によって異なります。

【精神障害者保健福祉手帳】

高次脳機能障害によって日常生活や社会生活に制約があると判断されると「器質性精神障害」として、精神障害者保健福祉手帳の申請対象になります。初診日から6か月以上経ってから申請ができます。申請用紙は、市町村役場、精神科病院、精神科診療所に備えてあります。

【身体障害者手帳】

手足の麻痺や音声・言語障害が残った場合、障がいの程度(1～6級)により身体障害者手帳の申請対象となります。申請用紙は、市町村役場に備えてあります。

【療育手帳】

こども女性相談センター(18歳未満)、又は、障がい者相談支援センター(18歳以上)において、知的障がいと判定された方に対して交付されます。申請用紙は、市町村役場に備えてあります。

2 福祉サービス

利用申請を行い審査・判定を受けることで、以下のような福祉サービスが利用できます。

【自立支援給付】

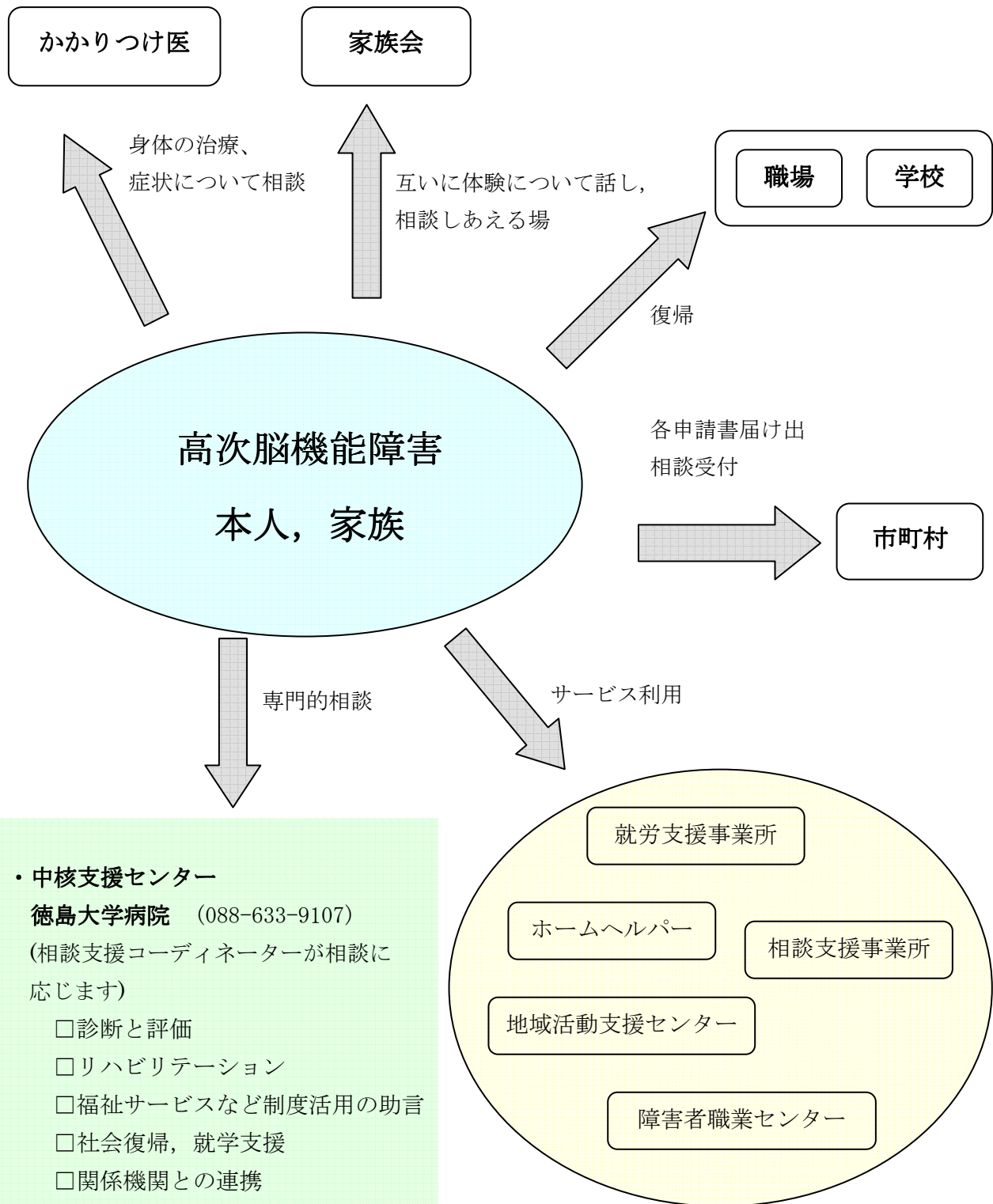
- ・「介護給付」 : ホームヘルプ、短期入所などでの介護サービス
入浴や排泄、食事の支援、創作的活動や生産活動への支援
- ・「訓練等給付」 : 就労移行支援、就労継続支援など
生活の自立や就労をめざす。
- ・「自立支援医療」 : 精神科への通院における医療費の支給

【地域生活支援事業】

- ・地域生活を支援するために市町村が行う事業
: 相談支援事業や地域活動支援センターなど
- *福祉施設の種類や利用までの流れは地域によって違いがあります。

問い合わせ先：お住まいの市町村窓口

相談機関や社会資源などの利用のイメージ図



・中核支援センター

徳島大学病院 (088-633-9107)

(相談支援コーディネーターが相談に応じます)

- 診断と評価
- リハビリテーション
- 福祉サービスなど制度活用の助言
- 社会復帰, 就学支援
- 関係機関との連携

・その他協力施設

高次脳機能障害に対応する支援機関

(平成 25 年 11 月現在)

□ 中核支援センター

医療機関名	所在地	連絡先
徳島大学病院 高次脳機能障害支援センター (地域医療連携センター)	〒770-8503 徳島市蔵本町 2-50-1	088-633-9107

□ その他協力施設

医療機関名	所在地	連絡先
稲次整形外科病院	〒771-1262 板野郡藍住町笠木字西野 50-1	088-692-5757
きたじま田岡病院	〒771-0204 板野郡北島町鯛浜字川久保 30-1	088-698-1234
水の都記念病院	〒770-0051 徳島市北島田町 1-45-2	088-632-9299
伊月病院	〒770-0852 徳島市徳島町 2-54	088-622-1117
ハウエツ病院	〒779-3602 美馬市脇町大字猪尻字八幡神社下南 130-3	0883-52-1095
阿南共栄病院	〒779-1198 阿南市羽ノ浦町中庄蔵ノホケ 36	0884-44-3131
鳴門山上病院	〒772-0053 鳴門市鳴門町土佐泊浦字高砂 205-29	088-687-1234
協立病院	〒770-8070 徳島市八万町橋本 92-1	088-668-1070
中洲八木病院	〒770-0856 徳島市中洲町 1 丁目 31	088-625-3535
兼松病院	〒772-0002 鳴門市撫養町斉田字大堤 54	088-685-4537
田岡病院	〒770-0941 徳島市万代町 4 丁目 2-2	088-622-7788
たまき青空病院	〒779-3125 徳島市国府町早淵字北カシヤ 56-1	088-642-5050
徳島健生病院	〒770-8547 徳島市下助任町 4 丁目 9	088-622-7771

医療機関名	所在地	連絡先
鴨島病院	〒776-8588 吉野川市鴨島町内原 432	0883-24-6565

.....

家族会

高次脳機能障がい徳島家族会「すだち」

住所：〒770-8006 徳島市新浜町 3 丁目 1-60

電話：088-662-4776

.....

市町村の機関（精神保健福祉業務担当）

市町村 担当課	所在地	連絡先
徳島市 障害福祉課	〒770-8571 徳島市幸町2丁目5番地	088-621-5177
鳴門市 社会福祉課	〒772-8501 鳴門市撫養町南浜字東浜170番地	088-684-1412
小松島市 介護福祉課	〒773-8501 小松島市横須町1-1	0885-32-2279
阿南市 福祉課	〒774-8501 阿南市富岡町トノ町12-3	0884-22-1592
吉野川市 福祉総務課	〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115-1	0883-22-2263
阿波市 社会福祉課	〒771-1695 阿波市市場町市場字上野段385-1	0883-36-6812
美馬市 障害福祉課	〒779-3695 美馬市脇町大字脇町1303番地3	0883-52-5614
三好市 長寿・障害福祉課	〒778-8501 三好市池田町シマチ1500-2	0883-72-7610
勝浦町 福祉課	〒771-4395 勝浦郡勝浦町大字久国字久保田3	0885-42-1502
上勝町 住民課	〒771-4501 勝浦郡上勝町大字福原字下横峯3-1	0885-46-0111
佐那河内村 健康福祉課	〒771-4195 名東郡佐那河内村下字中辺71-1	088-679-2971
石井町 福祉生活課	〒779-3295 名西郡石井町高川原字高川原121-1	088-674-1116
神山町 健康福祉課	〒771-3395 名西郡神山町神領字本野間100番地	088-676-1114
那賀町 健康福祉課	〒771-5495 那賀郡那賀町延野字王子原31-1	0884-62-1141
牟岐町 住民福祉課	〒775-8570 海部郡牟岐町大字中村字本村7-4	0884-72-3416
美波町 保健福祉課	〒779-2395 海部郡美波町奥河内字本村18-1	0884-77-3614
海陽町 保健福祉課	〒775-0395 海部郡海陽町奥浦字新町44	0884-73-4313
松茂町 町民福祉課	〒771-0295 板野郡松茂町広島字東裏30番地	088-699-8713
北島町 保健相談センター	〒771-0207 板野郡北島町新喜来字南古田88-1	088-698-8909
藍住町 保健センター	〒771-1203 板野郡藍住町奥野字矢上前32-1	088-692-8658
板野町 福祉保健課	〒779-0192 板野郡板野町吹田字町南22番地2	088-672-5986
上板町 福祉保健課	〒771-1330 板野郡上板町七條字経塚42	088-694-6810
つるぎ町 福祉課	〒779-4195 美馬郡つるぎ町貞光字東浦1番地3	0883-62-3111
東みよし町 福祉課	〒779-4795 三好郡東みよし町加茂3360番地	0883-82-6306

※ 平成25年4月1日

◆県の機関

機 関 名		所 在 地		連 絡 先
徳島県保健福祉部健康増進課 母子・こころの健康担当		〒770-8570	徳島市万代町1丁目1番地	088-621-2225
徳島県保健福祉部障がい福祉課		〒770-8570	徳島市万代町1丁目1番地	088-621-2238
徳島県障がい者相談支援センター		〒770-0005	徳島市南矢三町2丁目1-59	088-631-8711
徳島県精神保健福祉センター		〒770-0855	徳島市新蔵町3丁目80	088-625-0610
東部保健福祉局	徳島保健所	〒770-0855	徳島市新蔵町3丁目80	088-602-8905
	吉野川保健所	〒776-0010	吉野川市鴨島町鴨島106-2	0883-36-9019
南部総合県民局 保健福祉環境部	阿南保健所	〒774-0011	阿南市領家町野神319	0884-28-9878
	美波保健所	〒779-2305	海部郡美波町奥河内字弁才天17-1	0884-74-7375
西部総合県民局 保健福祉環境部	美馬保健所	〒777-0005	美馬市穴吹町穴吹字明連23	0883-52-1016
	三好保健所	〒778-0002	三好市池田町マチ2542-4	0883-72-1123

制作・編集

徳島県精神保健福祉センター

徳島大学病院・高次脳機能障害支援センター

発行元

徳島県保健福祉部 健康増進課

平成26年3月作成